

## エネルギー価格上昇の生活への影響調査

群馬経済研究所副部長 樹下芳久

### 調査のポイント

ガソリン、電気、ガスなどのエネルギー価格が上昇していることから、県内在住者を対象にエネルギー価格上昇の生活への影響を調査した。

### 要約

- 調査結果では、エネルギー価格の上昇に不安を感じている人がほとんどであった。こうしたなかで、エネルギー価格の上昇により、家計支出の見直しだけでなく、環境意識も高まっている。
- エネルギー価格の上昇は、エネルギーの使用量の削減と、エネルギー以外の商品・サービス支出の抑制など、広く支出行動・生活行動に変化をもたらした。
- 今後、エネルギー価格が上昇・高止まりした場合には、さらに、こうした支出行動・生活行動が強まり、消費市場の縮小要因となる。一方、エネルギー価格が下落したとしても、多くの世帯において抑制的な支出行動・生活行動が続けられる可能性が高い。
- こうしたなか、電気自動車、ハイブリッド車、太陽光発電設備、蓄電設備を導入した世帯、あるいは、今後エネルギー価格が高止まりすると仮定した場合に導入する意向の世帯は少なかった。
- これらの機械・設備は、導入コストが高いことが大きな問題となっており、普及には補助金などの公的支援の活用や価格・工事費の引き下げが必要であると考えられる。

### アンケート調査概要

- 調査対象：県内在住者（20歳～80歳未満の男女、学生を除く）
- 調査期間：2022年4月21日～4月28日
- 回答者数：975人
- 調査方法：インターネット調査
- 調査項目
  - ・エネルギー価格上昇による家計支出の変化
  - ・エネルギー価格上昇への不安
  - ・意識の変化
  - ・支出行動・生活行動の変化
  - ・機械・設備（電気自動車、ハイブリッド車、太陽光発電設備、蓄電設備）の導入意向

### 【回答者概要】

単位：人、()内は全体に対する構成比

全体	975 (100.0)
20代	185 (19.0)
30代	192 (19.7)
40代	202 (20.7)
50代	204 (20.9)
60代	192 (19.7)